

●徳山高専●

いんぐりつしゅ☆るーむが200回

一般市民や他校の生徒も参加

気軽に話せてジョーク劇も

周南市銀座のふれあいパーク街あいの徳山高専夢広場で毎週金曜に開く「いんぐりつしゅるーむ」が十九日、二百回を迎え、学生、職員、一般市民約七十人が祝った。

同「むはおしゃべり」の延長で気軽に英語を楽しんでもらおうと英語学の国重徹教授を中心に二

〇〇四年(日16)二月に開設。誰でも自由に参加でき、高専生七割、市民二割、徳山高桜ヶ丘高、中学生などが一割で毎回約二十人が周南の外国人や留学生と生きた英語を学ぶ場になっている。

この日は平野千博校長と島津市長がお祝いに訪れ、校長は「ここまで続いたのは皆さんが来てくれたおかげ」と感謝し、市長もビジネスマン時代の「海外での交渉経験を流暢な英語で紹介しているのがいい」▽土木建築工



200回記念を祝う参加者たち

て下さい」と呼びかけた。そのあと平野校長が贈った「祝200回」入り特大チョコレートケーキを食べて英語で歓談し、国重教授、小川仁志准教授らがシナリオを書いているジョーク劇で楽しませた。留学生のエムボ・ファティマさん(20)は「毎週、いろんな人と話せるのがいい」▽土木建築工学科二年の高橋のりかさ(16)は「単語も覚えられるし、だんだん聞き取れるようになりました」と話し、国重教授は「さらに三百回、五百回と続けていきたい」と張り切っていた。

同「む」は午後五時半から六時半まで。問い合わせは同高専地域連携推進係(0834・29・6227)へ。